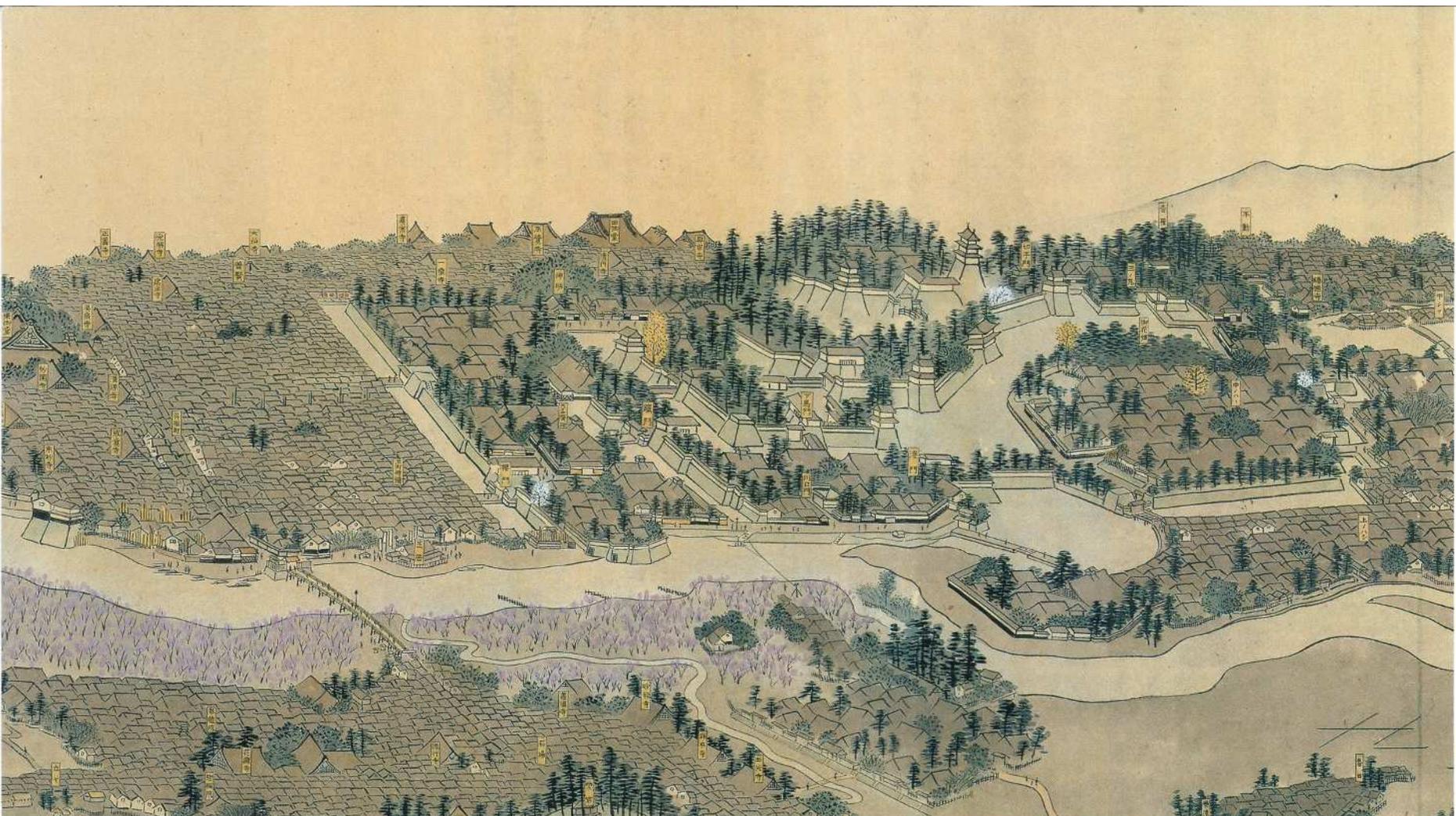


福井市史

通史編 2 近世

〔最終配本〕

福井城下眺望図（福井市春嶽公記念文庫）



本書の特長

通史編3巻のうちの一冊として、福井藩祖結城秀康の入封から、幕末・明治維新前夜までを対象としました。藩の成立から藩政のしくみと変遷、城下町福井と農山漁村のありさま、そこに生きた民衆のすがたと諸文化、幕末の激動の中で苦闘する慶永（春嶽）と地域の人びと…資料と諸研究の成果をもとに記述しました。表・写真・図版などを多数とり入れるとともに、既刊資料編の活用に対応して編集。地域学習に好適の書。

本書の構成

序章

第一章 福井藩の成立と藩政の推移

第一節 結城秀康と松平忠直／第二節 松平忠昌と光通／第三節 家臣団と藩政のしくみ

第二章 近世農村の成立と土地制度

第一節 最後の太閤検地／第二節 近世農村の成立／第三節 山と水の利用

第三章 都市と交通の発達

第一節 北庄から福井庄へ／第二節 城下町の支配と自治／第三節 北陸道と宿駅・河川／第四節 城下町を掘る

第四章 近世福井の宗教と文化

第一節 近世の宗教世界／第二節 前期文化の諸相／第三節 福井城と寺社・民家の建築／第四節 美術・工芸

第五章 揺らぐ藩政

第一節 貞享の半知と幕府領の成立／第二節 藩財政の窮乏／第三節 農村の姿貌と諸産業の発達／第四節 浦社会と漁業／第五節 災害と飢饉／第六節 騒動と一授

第六章 近世後期の学問・信仰と

生活文化

第一節 福井藩の学問・教育／第二節 近世民衆と信仰／第三節 地域文化の広がりと庶民

第七章 松平慶永と幕末の政局

第一節 慶永の襲封と藩政改革／第二節 開国と安政の大獄／第三節 慶永の幕政参画／第四節 長州出兵と幕府の倒壊／第五節 産物会所と惣会所

A5判上製函入

約一、〇〇〇ページ

頒布価格 六、六〇円

（税込）